

子ども第三の居場所づくり

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

メリーアティックホープ



学習や体験活動などを通して
子どもの居場所をつくります！

学習支援を中心に、工作や
実験といったイベントを行います！

活動した後は、希望者を対象に
夕食を提供します！（無料）

オンラインで関東や沖縄の
小学生と交流の機会もあります！

参加費無料

開所時間

15～19時

毎週 火・水曜日 定休日

電話 090-9694-2869

アクセス 京都市伏見区深草野手町 11-11

LINE



ホープの1日

対象児童 小学生

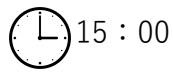
スタッフ 3名程度

開所日 月・木・金曜日

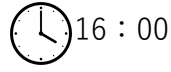
活動内容 学習支援/工作/実験 など

開所時間 15～19時

利用料金 無料



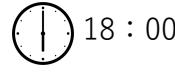
おやつ



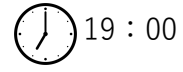
学習時間



体験活動



夕食



お迎え

宿題を中心に
学習します。

様々なイベントを
行いま

手づくりの
食事を提供しま

子ども第三の居場所とは

メリーアティックホープは、日本財団「子ども第三の居場所」の活動と連携してお子様のお預かりをしています。学習支援はもちろん、体験活動や食事提供などを行い、お子様の居場所づくりをしております。ご興味のある方は、チラシ表面の連絡先までいつでもご連絡ください！



すべての子どもたちが、未来への希望を持ち、これからの社会を生き抜く力を育むことのできる機会と環境を提供することは、大人世代の責任です。しかし現実には、家庭の抱える困難が複雑・深刻化し、地域のつながりも希薄になる中で、安心して過ごせる居場所がなく、孤立してしまう子どもも少なくありません。日本財団は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を全国に拡げます。ここをハブとして、行政、NPO、市民、企業、研究者の方々と協力し、誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくることで、「みんなが、みんなの子どもを育てる」社会を目指します。日本財団ホームページ「子どもの居場所」より

キーホルダーづくり



松ぼっくりリツリー



施設の内装

